

国政でも市政でも“住民が主人公”つらぬく

日本共産党議員団

国の悪政
ストップ!

△こどもから高齢者まで△

安価してくらせるまちづくりを!

いつも市民と一緒に

決算



医療・介護 改悪NO!

9月議会では、2024年度の決算認定の審査が行われました。物価高騰に苦しむ市民を支えて負担軽減に取り組むのが自治体の仕事です。

しかしながら、学校給食費やキセラの駐車場利用料などの引き上げ、駅前の駐輪場が有料化など市民への負担増となる事業が相次いだことから、日本共産党議員団は一般会計決算認定に反対しました。

ごみ袋の有料化もまだ諦めておらず、注視すべき課題です。

議員団は、引き続き市民の声を聴き命とくらしを守る市政へと全力でがんばります。

議員団は、保険料も利用料も負担増が続く後期高齢者医療と介護保険事業に対して、「命・人権守れ!」と、反対しました。また、抜本的な国の制度改善と財政的措置、市独自支援を求めていきます。

人間としての尊厳を

後期高齢者医療では、保険料賦課限度額66万円が80万円になり大幅値上げとなりました。その上、人間ドック助成額24000円が5000円に引き下げるなど75歳以上高齢者・65歳以上障がい者に大打撃。

また、「世代間の公平」だと出産一時金費用7%をこの保険で負担することになりました。

長寿を喜べる制度に

介護保険では、前年度比約4億円もの保険料値上げ。制度開始(2000年)から基準保険料は、約2倍。特別養護老人ホーム待機

者は409人。特定入所者介護サービス補足給付の見直しなども行われ、保険料は払うけれどサービスを受けることができない厳しい状況になっています。

市民だけでなく、訪問介護診療報酬2%の引き下げで施設も大打撃となり、「崖っぷちの介護保険」となっています。

議員団は、医療費4兆円削減が取りざたされている今、国や県が決めた制度に突き進むのではなく、所得が減り、物価高騰で苦しむ市民の実態に応じた社会保障制度になるよう、市としても国・県に対して改善を図ることを強く求めています。

※岡留美議員は議長のため採決に入っています。

議員敬称略

会派名	日本共産党			川西まほろば会				公明党				連合かわにし市民の会				日本維新の会				市民ファースト		無所属			
議員名 ※敬称略	黒田 みち	北野 のり子	吉岡 けんじ	秋田 修一	松隈 紀文	岡田 龍太郎	加藤 仁哉	西山 博大	大矢 根秀明	山崎 孝弘	榮奈 津子	大崎 淳正	平岡 譲	福西 勝	川北 将	中井 成郷	岡留 美	坂口 美佳	内山 裕介	角田 慎司	田中 麻未	斯波 康晴	加茂 文子	長田 拓也	
令和6年度川西市一般会計決算認定	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
令和6年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度川西市介護保険事業特別会計決算認定	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



新年度(2026年度)予算要望書提出

市民のくらし応援

議員団は毎年、新年度予算要望に向け市民と懇談を行い切実な声を組み込んだ要望書を市長と教育長に提出しています。

2026年度の予算編成にあたっては、市民のくらし応援するために国の制度の不十分な点を補い、市独自の施策として役割を果たす予算とすることを求めています。



予算要望書は、議員団ホームページにも掲載していますのでぜひご覧ください。